

令和4年度学校評価 計画

学校名	嬉野市立塩田小学校
-----	-----------

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	○学力向上については、学力向上対策シートに示したマイプランを指導したと回答した職員が85.5%であった。GIGAスクールについても共通理解し、実践を図っていくために、1人1台端末の今後の有効活用に向けて職員の技能の向上や授業づくりについての研修や体制づくりを行う必要がある。 ○コロナ禍の中であっても学びを止めず対話的で深い学びを実現するためには、地域連携による体験活動や学習指導について職員全体で共通の認識をもち、方法を模索していく必要がある。 ○業務改善・働き方改革については、働き方改革への意識をもつことができてきたが、時間外勤務の削減にはつながっていない。職員全体で共通の認識をもち、工夫を進めていく必要がある。
------------------	--

2 学校教育目標	元気に がんばる 塩田っ子の育成
----------	------------------

3 本年度の重点目標	○地域・家庭との教育力の連携（コミュニティとの活動及び家読の奨励） ○タブレットを活用した学習方法の研究
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上にする。	・職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修などにより取組の促進を図る。	・		・		・	かしこくプロジェクト 富永 古賀	
	○児童が分かる、できると思う授業の充実及び家庭学習の推進	○「マイプランを意識し、指導力向上に努めている」「タブレット端末の研修等に参加したり、活用を意識したりしている。」と回答した職員が85%以上を目指す。	・毎月のノーテレビ・ノーゲームデーの際に家読を推奨する。 ・家庭学習強化週間を設定する。(年2回) ・タブレット端末の研修会を年2回以上取り組む。 ・学年に応じた内容でタブレット端末を活用した授業を年間5回以上実践する。	・		・		・	かしこくプロジェクト 藤井 富永	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・アンケートで「学校は道徳など心の教育に積極的に取り組んでいる」と答える保護者が90%以上をめざす。	・全校でのふれあい道徳を実践する。 ・道徳の授業について学校のお便り等で年2回以上知らせる。	・		・		・	やさしくプロジェクト 田代 光岡	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	・いじめ防止等(いじめの認知・防止のための取組・事案対処等)について組織的に対応ができていると回答した職員が90%以上にする。	・教育相談週間を、年1回以上実施する。 ・毎月心のアンケートを実施し、気になる点の聞き取りや共通理解の場で確認する。 ・SCによる心の授業を各学年1回ずつ行う。 ・よいことでも共通理解をしたりスズキ校務の児童の様子を欄に残したりする。	・		・		・	やさしくプロジェクト 川原 安田 松本 小森	
	○あいさつ・返事の励行	・アンケートで「あいさつ・返事ができている」と答える児童・保護者が共に85%以上になることをめざす。	・あいさつや返事の仕方を具体的に指導するとともに、あいさつの意味について児童に理解させる。 ・児童会活動や委員会などによる挨拶の取組を実施する。 ・保護者に対し、PTA総会や学級懇談会、学級通信、まちCOMメール等をおして協働してあいさつ指導を行うような働きかけをする。	・		・		・	やさしくプロジェクト 有森 釘町	
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○学校評価アンケートで、「早寝・早起き・朝ごはん」が実践できていると答える児童・保護者をともに85%以上にする。	・年2回、生活がんばりカードで「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」をチェックする。 ・養護教諭や専門家と連携し、SNSやゲーム依存症に関する保健指導を講演会や学級指導などで継続して行う。 ・学級活動等において「早寝・早起き・朝ごはん(生活習慣)」に関する授業を年1回実践する。	・		・		・	たくましくプロジェクト 安田 光岡 松本 小森	
	◎志を高める体験活動の充実	○アンケートで、地域のよさを見つけることができたと答える児童と、学校は体験活動の充実にも努めていると答えた保護者を共に85%以上にする。	・各学年で、外部(地域の老人会等)や地域ボランティアと連携した学習活動を2回以上行う。 ・お礼の手紙など外部や地域ボランティアとの事後のやりとりまで意識して活動する。	・		・		・	たくましくプロジェクト 山口 馬場	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限(月当たり45時間以内)を遵守する。	・定時退勤推進日(毎週金・第3水)の完全実施を行う。(毎回、掲示物を提示する) ・前期の反省をもとに分掌事務等の分担の見直しを年1回行う。	・		・		・	校長 教頭	
	○放課後の事務時間の確保	○年間授業時数や余剰時数から、校時を見直し事務作業期間を年2回設定する。	・放課後の事務時間確保のために5時間授業日を設定し、10時間確保する。 ・成績処理及び学期末事務のために下校時刻15:40の週間を年3回設定する。	・		・		・	校長 教頭 教務	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の支援体制の充実	○特別な支援を要する児童や配慮を要する児童の理解や対応について、職員間でずれがないように共通理解を行う。	○アンケートで「困り感をもつ児童に対して、きめ細やかな指導・支援を行うことができる」と答える職員が90%以上になることをめざす。			・支援を要する児童の情報交換を、月1回行い、記録を蓄積する。 ・特別支援教育に関する研修会を年1回以上開く。 ・児童や保護者に対して啓発活動を年1回以上行う。					
										川原 安田

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------